

県立小出病院において、口腔ケアについて講演しました

平成26年3月12日（水）の午後6時より、新潟県立小出病院西病棟5階体育館において、医療従事者専門職種間連携教育事業「楽語い講座」の今年度の最終回として、当センターの黒川先生が「口腔ケアについて」と題して講演しました。

医療従事者研修専門職種間連携教育事業「楽語い講座」は、ヘルスケアセクター・行政・住民参加による、医療を核とした地域再生を目指す新たな構想として結成された「地域医療魚沼学校」が主催する、保健・医療・福祉・行政・教育にかかわる多くの人たち、そして地域の主役である住民自身が参加するワークショップです。

今回は、歯科医師である黒川先生が、口腔ケアの解説、高齢者・要介護者に対する口腔ケアや摂食・嚥下の重要性、歯科疾患の全身疾患への関連性についてなど、多くの症例提示を交えながら解説しました。

口腔ケアの定義は、口腔の疾病予防、健康の保持増進、リハビリテーションにより、QOLの向上を目指した科学であり技術であるとのことでした。



口腔ケアについては、医療従事者の間でもあまり詳しく知る機会のない分野で、参加者からも非常に興味深い話であった、明日からの診療に役立てられる、等のご意見をいただくことができました。

私たちの取り組みの大きな柱の1つである口腔ケアについて、今後も積極的に取り組んでいきたいと思っております。

